

教育目標

- 正しい判断力と行動力を身に付け、たくましく自分の将来を切り拓く能力を培う。
- 高校生としての自覚を強く持ち、自分に厳しく責任感をもって行動できる能力を培う。
- 常にお互いを敬い、感謝し、思いやり、穏やかに他者と和する心と、奉仕のできる豊かな感性を創造する力を培う。
- 自然を愛し大切にし、常に心を豊かにする努力を惜しまない人間を育てる。

《校訓》

- 開拓 ○自律 ○協和 ○情操

項目	令和3年度数値目標	令和3年度	令和2年度	令和元年度	30年度	29年度
生徒の学校満足度	80%以上	91.0%	78.3%	80%	74.3%	71.5%
現役進路決定率	95%以上	92%	93%	92%	87%	93.0%
遅刻者数(クラス1日)	1.2人以下	2.39人	1.83人	1.5人	1.71人	1.65人
部活動加入率	80%以上	74%	65%	71.0%	74.5%	74.8%
入学者選抜1次応募倍率	1.40倍以上	0.82	1.37	1.28倍	1.22倍	1.22倍
学校説明会参加者	1500人以上	983人	1529人*	1300人	1124人	1347人

*…オンラインでの視聴人数を含む。

1 教育活動の取組目標と方策

① 学習活動

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴うオンライン授業を学年ごとに実施し、一定の効果があつた。
- ・朝学習を全学年で実施した。独自の学習テキストを作成した。
- ・週末課題を1・2学年で実施した。独自の学習テキストをスタディサプリとクラッシーで実施した。
- ・数学科で習熟度別授業を1学年数学Ⅰ、2学年数学Ⅱで実施した。生徒の基礎学力向上と学習習慣向上に繋がった。
- ・英語科で、少人数授業を1学年の英語表現Ⅰ、2学年のコミュニケーションⅡで実施し、生徒の興味・関心が向上した。
- ・国語科で、少人数授業を1学年国語総合、3学年国語表現で実施し、生徒個々に丁寧に指導し、知識の向上に繋がった。
- ・理科で、少人数授業を1学年3学年物理基礎と化学基礎、生物基礎で実施し、生徒が集中して授業に取り組んだ。
- ・家庭科で、少人数授業を2学年家庭総合で実施した。個々に応じたわかり易い指導に繋がり、生徒の技術力が向上した。
- ・保健体育科で、多展開授業を3学年の実技で実施した。生徒の興味・関心が向上し、生涯体育の意識向上に繋がった。
- ・ICT機器を活用した授業及びオンライン授業について教科会ごとに研修会や勉強会を実施した。
- ・学校設定科目で、中国語講座を開講した。受講生は19名であつた。
- ・JET(11月～3月)及びALTを活用した授業を1学年コミュニケーションⅠ、2学年コミュニケーションⅡ、3学年コミュニケーションⅢで実施した。英語に興味を示し、英語力の向上に繋がった。
- ・英語検定準2級3名、3級5名が合格した。
- ・漢字検定2級が4名、準2級16名、3級2名が合格者した。
- ・実用数学検定2級に2、実用数学検定準2級に4名が受検した。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため時差登校を実施するとともに、授業はノーチャイムで実施した。生徒の授業始業前着席がおおむね実施できた。授業規律を通しての規範意識の醸成はおおむね指導できた。
- ・夏季講習は、1年生向けが4講座、2年生向けが3講座、3年生向け各3講座の、合計10講座を実施した。
- ・図書委員会を4回実施し生徒の読書活動を支援する活動を行った。生徒の貸出冊数は859冊で、昨年度より631冊減となった。
- ・人間と社会での都立中央公園の清掃、老人福祉施設での活動を実施し、ボランティアマインドの醸成に繋がった。

②進路指導

- ・今年度の進路決定率は、92%であつた。
- 4年制大学への進学は、52名であつた。主な4年制大学は次の通りである。
東京農業大学、東京経済大学、杏林大学、玉川大学他
- 短期大学への進学は、10名であつた。主な短期大学名は次の通りである。
秋草学園短期大学、白梅短期大学、帝京短期大学他
- 専門学校への進学は、106名であつた。主な専門学校名は次の通りである。

都立府中看護専門学校、日本電子専門学校、国際文化理容美容専門学校 他
就職者は、28名であった。主な就職先名は次の通りである。

ブリヂストンリテールジャパン(株)、(株)サンドラック、FC東京、(株)ノジマ 他

- ・今年度実施した進路行事は次の通りである。

1年生は、進路ガイダンス(6月)、職業体験実習(3月)、合格体験座談会(3月)

2年生は、進路ガイダンス(6月)、職業探求(10月)、職業適性検査解説会(2月)、卒業生講話(3月)

3年生は、学校別ガイダンス(6月)、推薦説明会(7月)

進路指導部と学年とが連携し、キャリア教育の充実と、生徒の進路に対する意欲の向上が見られた。

② 生活指導

- ・校門では、毎朝生活指導部を中心に教員全員で遅刻防止、自転車の乗り方、生徒の安全確保、挨拶、身だしなみ等の指導を行った。組織的に教員全体で確実な生徒指導を実践した。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保健総務部を中心に全教職員によって、検温及び消毒、マスク(不織布)着用等の指導を毎日行った。
- ・いじめに係るアンケート調査を3回実施したがいじめ案件はなかった。今後も常に生徒を観察するとともに、学校及び家庭、スクールカウンセラー、学校いじめ対策委員会と連携し、いじめは絶対にさせない、許さない。
- ・4月及び5月、7月、12月、3月にSNSに関する指導、4月に交通安全教室、7月及び10月に東村山警察署と連携した自転車登校指導、12月に東村山警察署による「不審者への対応」についての講話、3月に薬物乱用防止教室をそれぞれ実施した。

③ 特別活動

- ・文化祭は新型コロナウイルス感染症対策のため、感染対策を徹底するために、校内公開及び、形式を変更して実施した。実施については、生徒の実行委員会主体の活動により、生徒の充実した開催となった。
- ・体育祭は新型コロナウイルス感染症対策のため非公開とし、6月に実施した。結果は黄団が優勝した。準備・練習や当日の運営、種目やルールの工夫など、生徒が中心となって実施した。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、部活動の加入率は74%となり、目標を下回った。来年度は各部の部員数を増やすとともに、大会成績等の向上を期待する。また、部活動を通しての人間力の向上も引き続き期待する。

⑤ 健康づくり

- ・組織的かつ適切な体力テストを実施した。授業や特別活動、部活動を通して体力の向上が図れた。
- ・スクールカウンセラーの1年生全員面接を通してスクールカウンセラーの意義や活用方法を生徒に周知できた。スクールカウンセラーの相談体制構築にいかされた。
- ・専門医による講演会を7月に実施した。
- ・アレルギー対応とAED操作の校内研修会はできなかった。来年度は校内研修会を実施して、全教職員が緊急時の対応ができるようにする。
- ・新型コロナウイルス感染症対策に伴い、夏季合宿は2年続けて中止とした。

⑥ 募集広報活動

- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、次のとおり内容を一部変更して実施した。
夏季休業中における教員全員での中学校訪問、体験入部は中止とした。
学校見学会を8月に2回実施し計224名が参加した。個別見学会は8月~10月に実施し計290名が参加した。
学校説明会は、11月と12月に計2回実施し、計408名が参加した。
校舎案内を1月に実施し2名の参加があった。
都教育委員会主催の合同説明会は立川会場及び本校で実施し計59名の参加があった。
- ・ホームページ更新の実務担当者を増やし、更新回数を増やす取組を実施した。ホームページから学校情報をタイムリーに広報する取組を実施した。更新回数は211回となった。

⑦ 学校経営

- ・東村山市富士見町 園・学校連絡会は、連絡会が実施されなかった。連携は今後も継続する。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、次の活動はできなかった。
ハンドボール部による小平特別支援学校のボッチャ部との交流 (←変更なし)
吹奏楽部による東村山市総合体育大会開会式の演奏への参加 (←変更なし)
野球部による近隣の中学校野球大会の運営や小学生のTボール大会への参加 (←変更なし)
都立中央公園みどりの祭典オープニングセレモニーへの参加(みどりの祭典が中止) (←変更なし)
- ・TAIMS校内掲示板を活用し、朝の打合せや企画調整会議、職員会議での全ての資料をデータ化した。資料の削減や効率化を図った。
- ・教職員の定期健康診断の受診率は100%であった。ライフ・ワーク・バランスを推進し、心身ともに健康で学校も家庭も両方大切にしていけることが今後さらに求められる。
- ・経営企画室職員は、学校見学会や学校説明会に参加し、経営参画意識がさらに向上した。